

風邪？ 秋の花粉症かも

秋の花粉症にご注意を。春に多い花粉症だが、八〜十月にもブタクサやヨモギなどの花粉が原因で症状が出る。今年は猛暑の影響で飛散量が増え、時期も長引く可能性があるという。秋の花粉症を知らず、風邪と思い込んで薬を飲む人が少なくない。専門家は正しい防衛策と治療が必要と呼び掛ける。
(上田千秋)

猛暑で長期化の可能性

「風邪薬では効果がなやヨモギのほか、夏期一薬を飲むことが大切で出る人もいます。」自身のブログで注ブタクサやヨモギは河川敷や空き地など、どこらハートクリニック」にも生えていて、コン(静岡県御殿場市)の斎クリートに覆われた場所藤憲院長はこう訴える。

花粉症といえば、関東植物ではない。散歩やシシ地方では主に二〜五月にヨギンクなどを日課に飛散するスギとヒノキのている人は、近くを通るイメージが強いが、原因機も多し。

となる物質は約五十種類 秋の花粉症の症状は、あるといわれる。ブタクサ 春と一緒だ。くしゃみや

ブタクサ、ヨモギなどが原因



スポーツの秋、ブタクサが生い茂る河川敷では花粉症に要注意―東京都大田区の大森川河川敷で

鼻水が出て、目がかゆく、者の三割ぐらいなどでなることもある。斎藤院長は「スギやヒノキの患者数は多くはな長は」

正しい知識で治療を

に症状を訴える人が増え、やヨモギの近くを通る機会が多くなった。『風邪をひきま会が多い四百人に聞いたきた』と言ったところ、秋にも花粉症がて、いざ調べる喉の炎あることを知っていた人症や痛みがないので花は六割にとどまった。ま粉症だと分かる」と話た、症状が出て医師に受診してもらわず、市販

ブタクサやヒノキを含薬も飲まないという人がめ、花粉症患者は増加傾向にあるとみられている。向にあるとみられている。花粉症はもはや、「国

躍進教授(生物環境科、学)は「地球温暖化の影響がまず考えられる。気温が高いと植物の成長も早くなる。それに、衛生環境が良くなって異物に対する感受性が高くなり、免疫力が落ちてくることも理由の一つだろ

う」と分析。「夏の気温が高かった今年は例年に比べ、ブタクサやヨモギの花粉の飛散量も増えて

いるはず」と唱える。問題は、秋の花粉症に

関して、正しい知識を持つ人がそれほど多くない

ことだ。エスエス製薬(東京)が、週に一回以上ランニングをしていてブタクサ

「春の花粉症と同じように、症状が出る人はま

ずはマスクや眼鏡をし、できるだけ花粉症の原因となる物質に近づかないようにする。それでも良

「エスエス製薬(東京)が、週に一回以上ランニングをしていてブタクサ

「エスエス製薬(東京)が、週に一回以上ランニングをしていてブタクサ